



# 玉工通信

〒 311-3501茨城県行方市芹沢1552  
 TEL 0299-55-0138 FAX 0299-55-3454  
<http://www.tamatsukuri-th.ibk.ed.jp>



## たまこう行事予定

- 4月10(金) ~16(木) 2者面談期間
- 4月16(木) 基礎力診断テスト(3年)、到達度テスト(1・2年)
- 4月17(金) 第1回避難訓練
- 4月24(金) 進路フェスタ(2年・3年)
- 5月 7(木) 中間考査日程発表
- 5月12(火) ~15(金) 中間考査期間



## 始業式（4月6日）校長講話



皆さん、おはようございます。そして、進級おめでとうございます。

今日から新しい年度が始まります。春の心地よい空気の中、希望に満ちた皆さんの元気な姿を見ることができ、大変うれしく思います。新しい学年を迎え、2年生は学科ごとの新しいクラスでのスタートとなります。

今日という節目を大切に、気持ちを新たに、自分自身をさらに成長させてほしいと思います。

この一年をより充実したものとするために、昨年度お話しした「四つのお願い」を発展させ、本日は皆さんの成長を支える「三つの柱」としてお話しします。

**一つ目は、「信頼される行動を心がける」ことです。**

時間を守ること、約束を果たすこと、自分の役割に責任をもって取り組むこと。こうした日々の積み重ねが、周囲からの信頼につながります。

また、迷いや不安を感じたときには、焦って結論を出すのではなく、一度立ち止まり、自分自身と向き合うことも大切です。

そして何より、相手を傷つける行為やいじめは決して許されません。常に自ら考え、よりよい判断ができる、信頼される人へと成長してほしいと願っています。

**二つ目は、「人とのつながりを大切にすること」です。**

学校は、多様な考えや価値観をもつ人が集う場です。だからこそ、お互いの違いを尊重し、認め合う姿勢を大切にしてください。

周囲に困っている人や悩んでいる仲間がいれば、思いやりをもって手を差し伸べるとともに、一人で抱え込まず、先生など身近にいる信頼できる大人に相談することも忘れないでください。公的な機関に相談するという手段もあります。皆さん一人ひとりの行動が、誰もが安心して過ごせる安全な学校づくりにつながります。

**三つ目は、「主体的に学び、挑戦すること」です。**

これからの社会では、正解のない問いに向き合い、自ら課題を見つけ、探究し続ける力が求められます。授業や学校行事、部活動の中で、「なぜだろう」「もっと知りたい」という思いを大切に、自らの学びを深めてください。

そして、得意なことはもちろん、苦手なことや難しいと感じることにも、あきらめずに挑戦してほしいと思います。すぐにうまくいかなくても構いません。試行錯誤を重ねながら一歩ずつ前に進む、その粘り強さこそが、皆さんの真の力となり、将来の可能性を大きく広げ、豊かな人生へとつながっていきます。

そして、ここでの学びや経験を糧として、皆さん全員が地域社会に貢献するのみならず、さらに広く、これからの未来をリードする人材へと成長してくれることを期待しています。

今年度も、皆さん一人ひとりが自分らしく輝けるよう、私たち教職員は皆さんの心に寄り添い、全力で支援してまいります。自分を信じ、仲間を信じ、ともによりよい学校生活を築いていきましょう。

結びに、今年度が皆さんにとって実り多く、大きく飛躍する一年となることを心から願い、始業式の挨拶といたします。

# 始業式（4月6日）生徒支援部長講話（主旨）



今年度以降、「生徒指導部長」から「生徒支援部長」に名称変更。  
「指導するだけでなく、生徒を支援していく」という姿勢の転換を強調。

## 最重要メッセージ

命を落とさずに一年を過ごすこと「誰一人欠くことなく今年度を終えること」が最大のお願ひ。  
ルールを守ることが命を守ることに直結するという観点から、以下の具体例を挙げた。

## 自転車ルールの法改正（2026年4月施行）

青切符制度の対象拡大、悪質な違反には赤切符（刑事・民事両方の責任）が適用される。ルールを守っていても守らない他者によって命を落とすケースがあることを示し、だからこそ全員がルールを守る必要があると訴えた。

## 「知らなかった」は通用しない

右側通行・傘差し運転をしていた高齢者が「知らない」と逆に反発した事例を紹介し、学校のルールも同様に「知らなかった」では済まないと注意を促した。

## 生徒会によるルール見直しの取り組み

現在、生徒会が学校ルールの改善を検討中であり、生徒の意見を集約してルールに反映させていく流れが進んでいる。「みんなで決めたルールをみんなで守る」という姿勢を求めた。

## 集会・服装について

生徒が時間前に集合できる規律ある集団であることを評価しつつ、式典にふさわしい服装の徹底を改めて求めた。

## まとめ：

校長・生徒支援部長ともに、ルールの遵守・信頼関係の構築・主体的な挑戦を新年度の柱として示した。特に支援部長は「命を落とさずに一年を終える」ことを最優先事項として強調し、生徒一人一人が安全で充実した学校生活を送れるよう、教職員・生徒会・生徒が連携して取り組む体制を整えていく方針を示した。

## 表彰状授与式 始業式（4月6日） ウェイトリフティング

## 全国選抜 第2位



# 新任式（4月6日）

# 新任式 生徒会長挨拶



## 3 学年担当職員



## 2 学年担当職員



ようこそ「玉造工業高等学校」へ！先生方のごを心待ちにしておりました。

私たちは、これまで本校の校訓である「・勤勉・共和」を心に刻み、先生方のご指導のもと勉学に部活動に生徒会活動に互いに力を合わせてしんできました。

新年度をむかえ、教頭先生をはじめとする先生方をお迎えするにあたり、「校章のVは霞ヶ浦と羽の飛躍、さらに円は玉造の玉と各科のを示していて、63年の歴史ある本校の名に恥じない生徒として、規律正しく、明るく、楽しく高校生活をしよう」と決意を新たにしました。

先生方、どうぞよろしくお願いいたします。

以上をもって生徒を代表してのご挨拶とさせていただきます。

生徒代表 櫻井 景斗

